

元魔法少女のいる風俗店

―生意気変身ヒロイン催眠洗脳ご奉仕フルコース―

プロローグ

「いらっしやいませ、お客様。戦闘員の方でらっしゃいますね？」

「ええ、組織直属の風俗店であっております」

「それにしても、お客様は運がいいですね。ちょうど今日、新しい魔法少女の入荷がありました。ええと、名前は……」

「聖恋天使(せいれんてんし)プリム・ポーションちゃんです」

「あ、なるほど、何回か戦った経験が……なるほどなるほど。それでは、お楽しみいただけそうですね」

「ご指名はプリムちゃん決まったようですが、戦闘員さん、こちらのご利用は初めてですね。それでは、簡単にサービスの流れの説明から。時間は10分もかかりませんよ」

「当店は組織専用の風俗店です」

「オウらつてきた民間人や、戦闘で捕らえた正義の味方など、怪人に加工する前に、人気がある素体は催眠洗脳で調整して嬢として配置しています」

「風俗店で働かせることで、洗脳が定着しやすくなりますし、戦闘員や怪人の方々への性的な福利厚生も兼ねています。いわば怪人素体の有効利用、というわけです」

「風俗嬢の種類や、組織への貢献度でご利用回数が決まる以外は、普通の風俗店と同じですね」
「お客様のように、任務で手酷くやられたことのある魔法少女をご指名される方は、非常に多いですね」

「一度、負けた相手を肉便器使いして、ごちうらが本当の勝者か、わからせる悦びというものは、何物にも変えがたいですからね。んんん」

「ああ、すでに嬢達は組織の所持品ですので、損傷が起きるようなプレイはNGですから。お忘れなさいませ」

「お客様は大丈夫かと存じますが、ごくまれに勢いあまって、組織の大切な備品である魔法少女を、壊してしまう方もいらっしゃいますので」

「ごちうらつ、オプシオンも、組織の洗脳技術を最大限に生かした、この店ならではのモノとなっております。ごちうらリストにあるように、好意度、催眠条件、使用アイテムを選べます」

「好意度99%の恋人プレイも人気ですね」

「ええ、プリム・ポーションちゃんも、すでに洗脳処理は終わっていますので基本、従順なビッチですね」

「選んでいただいたコースによって、追加で仮想人格を植え付けています」

「おすすめは、元の魔法少女に近い仮想人格と従順なビッチ人格を、指パッチンで切り替える基本コースですね」

「清純な正義の味方と、ビッチな風俗嬢を、同時に楽しめるということで、皆さんに大人気で
す」

「はい、それではご指名は聖恋天使プリム・ポーションちゃんです、コースの設定を行いますね」

「先にお部屋へご案内いたしますので、そちらまでお待ちください」

「洗脳済みとはいえ、プリムちゃんは新人りですので、まだ慣れていないことも多いと思います。お客様の手でしっかりと可愛がって、しつけてあげてくださいね」

「え、あ……うそ、出したばかりよね……なのに、もうおちんちん、ビキビキにそり返らせて」「コンドームっ」

「わたしが、つけてあげないとダメなの……そんな……な、何言ってるのよー！ ナマでなんて、できるわけじゃないー」

「もちろんコンドーム、初めてよ。けど、使い方は知ってるから、ゴムをぐらいい、つけるだけでしょ……」

「こんなエッチな知識まで洗脳で書き込まれちゃって……ううう……」「わぐらいい、負けないんだから……抜け出すチャンスを見つげるためには今は……し、従っふりをしてあげるっ」

「……」

「このままゴムを引っ張って、ん、ん、かぶせていけばいいのよね……ん、ん、あれ、上手くないかな」

「先っぽは、かぶるけど、どうして、入っていかないの？ 大きいカリが引っかかって……んう、んう……」

「これで装着完了ね……そそり立ったおちんちんに、コンドームが薄く伸ばされて……いやらしいおちんちんの形、くつきり浮かんで、硬い感触も、こんなの……はあ、はあっ♡♡」

「見とれてないわよっ!? い、息も荒くなってるからっ」

「騎乗位!? わたしがあんたの上にもたがって……くっ、やればいいんでしょやれば」

「んしょ、男の人の上にまたがるなんてはしたないことっ、嫌なのに……初セックスが雑魚戦闘員相手だなんて」

「怪人に負けたときに触手レイプされてたほうが良かったわよ」

「わかってるから、急かさないで」

「いや、や、やめてえ、まだ処女なんだから、おちんちんっ、突きあげて「ないでえ……」わたし、自分でおちんちん握って……あ、あ、わたしのあそこに先端カア建てるのわかるっ……あ、

ぐ、ぐ、ぐ……おまんこの中に、潜ってきつて。」「のまま、腰を落とせばいいのよお」

「そうしたら、一気にオチンポ、奥にツ……んいい、んいぎ……♡」

「……あ、ああ……わたしの奥に、ガチガチのチンポの硬いヤツ、痛あっ、つくあ……ダメ、こんなやつの前で、な、涙なんて……んぞっ」

指をパチンと鳴らす音

「ぞっぞっ」

「いや、いやぁッ、なんでまたおちんちん入ってるの!?! おまんこの奥う、し、子宮まで響いてえッ、また来ちゃう、イグ、イグうッ、またあ、ああ——ッ♡」

「あんっ、おちんちん、ずるって、外に出てえ、な、何してるの……ゴム取っちゃったら、せーし、外にっ!?!」

「……あんっ、そんなあ、お尻にねつとねとのザーメンシャワー、ぶっかけされてえ……はあ、はあ……お尻どろどろになっちゃった……聖恋天使の衣装にせーしの匂い染み付いて……」

「け、けど、わ、わたしッ……あんたなんか、絶対、ま、負けっ……負けないんだからッ!」